



FERRIS
UNIVERSITY

2018 No.16

フェリス女学院大学同窓会会報



カイバー記念講堂

《聖句》

心の貧しい人々は、幸いである、天の国はその人たちのものである。

マタイによる福音書 5章3節

「強いられた恩寵」



理事長 奥田 義孝

クリスチャンの教職員が交代で講壇に立つて
いる。

恐らく教会特有の言い方だと思うが、何か役割を担う時に「強いられた恩寵」という言葉を引き受けたときの受け止め方をする。「積極的に引き受けたわけではないが、神から与えられた恩寵として受け止める」といったニュアンスだろうか。何がしかの本音とユーモアを交えた言葉である。教会には会員の奉仕で支えられるさまざまな役割や仕事があり、それぞれが出来る範囲で引き受けているが、「ちょっとシンドイが、でも神様のご命令では仕方ないね!」と自分に言ひ聞かせているのかもしれない。フェリス女学院にかかるようになって、同じような経験をすることになった。卒業生ならご存知のことだが、フェリス女学院大学では毎日昼のひととき、チャペルサービスが行われる。緑園では毎日、山手は木曜日に20分程度の小礼拝がある。礼拝出席者数はかなり変動するが、これは出席がカウントされるかどうかに左右されるらしい。卒業生の皆さまには身に覚えのあることに違いない。礼拝では10分程度の説教があり、チャプレンの先生方をはじめ、

恐らく教会特有の言い方だと思うが、何か役割を担う時に「強いられた恩寵」という言葉を引き受けたときの受け止め方をする。「積極的に引き受けたわけではないが、神から与えられた恩寵として受け止める」といったニュアンスだろうか。何がしかの本音とユーモアを交えた言葉である。教会には会員の奉仕で支えられるさまざまな役割や仕事があり、それぞれが出来る範囲で引き受けているが、「ちょっとシンドイが、でも神様のご命令では仕方ないね!」と自分に言ひ聞かせているのかもしれない。フェリス女学院にかかるようになって、同じような経験をすることになった。卒業生ならご存知のことだが、フェリス女学院大学では毎日昼のひととき、チャペルサービスが行われる。緑園では毎日、山手は木曜日に20分程度の小礼拝がある。礼拝出席者数はかなり変動するが、これは出席がカウントされるかどうかに左

右されると、神から与えられた恩寵として受け止める」といったニュアンスだろうか。何がしかの本音とユーモアを交えた言葉である。教会には会員の奉仕で支えられるさまざまな役割や仕事があり、それぞれが出来る範囲で引き受けているが、「ちょっとシンドイが、でも神様のご命令では仕方ないね!」と自分に言ひ聞かせているのかもしれない。フェリス女学院にかかるようになって、同じような経験をすることになった。卒業生ならご存知のことだが、フェリス女学院大学では毎日昼のひととき、チャペルサービスが行われる。緑園では毎日、山手は木曜日に20分程度の小礼拝がある。礼拝出席者数はかなり変動するが、これは出席がカウントされるかどうかに左

良い羊飼い



学院長 鈴木 佳秀

マタイによる福音書一八章一〇節～一四節にある有名なたとえ話は、カイパー記念講堂のステンドグラスに描かれているイエスの姿を選び、語るのだが、因みに、今年6月各週の「週間主題」は、「環境」「ボランティア」「幸せ」「友だち」であった。第1週を担当した私は「箱舟は間に合うのか?」と題して、イースター島社会が森林乱伐により崩壊した事例を紹介し、環境破壊ひいては社会の崩壊をたらす要因はさまざまだが、それが個人、企業、国家のエゴイズムに起因しているとすれば、それはやはり神の前に人間が堕落しているとき、チャペルサービスが行われる。緑園では毎日、山手は木曜日に20分程度の小礼拝がある。礼拝出席者数はかなり変動するが、これは出席がカウントされるかどうかに左

右されるらしい。卒業生の皆さまには身に覚えのあることに違いない。礼拝では10分程度の説教があり、チャプレンの先生方をはじめ、

しかし旧約聖書から新約聖書まで、幾度も読み通しているうちに、あることに気がつかされた。それは、羊の群れを飼うのは、たった一人の羊飼いであることは稀で、通常はグループで、つまり羊飼いが使っている使用者と共同で飼っているという事実であった。つまり九十九匹を無責任に放置して、失われた一匹を探しに向かったのではない。使用者たちに任せて、失われた子羊を探しに向かつたということが分かるようになった。

父祖アブラハムは沢山の羊や山羊の群れを連れて約束の地に来たが、使用人たちを伴つてやつて来たという(創二・五)。彼らがいなければ、アブラハム一人で、沢山の羊の群れを飼うことは不可能である。ヨセフ物語に出てくる場面でも、ヨセフは兄弟たちと一緒に羊の群を飼っている(創三七・二)。モーセはエジプトの役人を殺害したため、亡命しミディアンの地に逃れるが、そこで、娘たち七人が羊の群れに水を飲ませようとする場面に行き当たつて、彼女たちを助けている(出三・一六)。ダビデも父の羊の群れを飼つていたが、父の命令で、戦場にいる兄たちに食料を届け、無事を確認するように命じられたがゆかなかつたことを思い出す。失われた一匹の子羊を、羊飼いが探しに向かうのは分かることである。

高校生の頃、初めてここを読んだ時は、納得がゆかなかつたことを思い出す。失われた一匹の子羊を、羊飼いが探しに向かうのは分かることである。しかし、狼の群れにでも襲われれば大きな被害をもたらすではないか、そう考えたからだ。

しかし旧約聖書から新約聖書まで、幾度も読み通しているうちに、あることに気がつかされた。それは、羊の群れを飼うのは、たった一人の羊飼いであることは稀で、通常はグループで、つまり羊飼いが使っている使用者と共同で飼っているという事実であった。つまり九十九匹を無責任に放置して、失われた

羊飼いでなく、自分の羊を持たない雇い人は、狼が来るのを見ると、羊を置き去りにして逃げる」と記されている。雇い人たち等には、羊が失われた場合、賠償が課せられたことが分かっている(出二・三七、三一・九、一二、アモ三・一二、エゼ三四・一～一〇等参照)。

「このように、これらの小さな者が一人でも滅びることは、あなたがたの天の父の御心ではない」と結ばれているのは、極めて印象的である(マタ一八・一四)。

感謝とお願ひ



学長
秋岡
陽

維持協力会のご案内

「フェリス女学院維持協力会」は、一九九五

能です（引落手数料は学院負担）。

会員登録

寄付金のご入金と同時に維持協力会へのご入会となります。

ご支援・お力添えをいただけますようお願い申し上げます。

「ラーニング・コモンズ」とは、学生たちの主体的な学びを促進する新しいスタイルの学習環境です。施設設備（ハード面）に関しては学生たちが授業時間以外にもすんなり集まり学習できる環境の整備が行われます。そこで力を発揮して、学生たちが、必要な学・学びを

いときに、適切な指導・支援が受けられるよう、学習支援体制を整備します。この「ラーニング・コモンズ」は、フェリス女学院大学での自立した学びと生活の象徴的なスペースとなることになります。

フェエリス女学院は日本で最初にキリスト教女子教育を始め、以来つねに「新しい時代を切り拓く教育を行ってきました。そして今、ゲ

ローバル化が進む一方で、先行きが不透明だ

くお願ひ申し上げます。詳細は募金趣意書をご参照ください。また、一五〇周年記念募金のほか、通常の募金既存施設設備のための積立てもお願ひしておりますので、あわせてご支援を賜りたくお願ひ申し上げます。

●寄付金控除 フェリス女学院広報『ALL FERRIS』をお届けします。

●ご寄付の方法

● ご寄付の方法

法人への寄付金となり、優遇措置が受けられます（必要書類は、領収書発送時に同封し

◎ 金指揮

維持協力会へのご寄付は、特定公益基準

七年四月から「全数学養教育機構（C L A）」を中心、新しいリベラル・アーツ教育が本格的にスタートしています。感謝をもってご報告いたします。

ざし、教育内容と教育環境のより一層の整備をすすめ



なお、(一次)に引き続き、今年の四月から、てまいります。

大學記念事業(一)の募金が始まっています。これは緑園キャンパスのもうひとつ的新教育の拠点となる「ラーニング・コモンズ」を整備するものです。一五〇年の歴史を未来につなぐ、フェリスならではの教育環境整備です。ご支援、お力添えいただけますようお願い申し上げます。



振込用紙で、最寄りの郵便局・金融機関よりお振り込みください。振込用紙は、ご請求いただければすぐにお送りいたします。

ネットバンキング・ATM・クレジットカードによる寄付も受け付けております。

(※詳細は学院HPをご参照ください)。継続的なご支援をご検討の方には、ご指定の銀行口座からの自動振替制度をご利用可

- お問い合わせ・資料請求先
フェリス女学院本部事務局 総務課
電話 ○四五五六六二一四五一
E-mail lssoumu@ferris.ac.jp

●お問い合わせ・資料請求先

フエリス女学院本部事務局 総務課
電話 ○四五六六一四五一
E-mail hsoumu@ferris.ac.jp

りべるて・Fグループ・りてら合同総会

2018年6月9日・カイパー記念講堂にて



第15回合同総会は、盛夏を思わせる暑さの中、山手カイパー記念講堂に多くの会員のご出席を得て開催されました。開会に先立ち、本部総務課大久保様より、学院150周年記念募金のご説明と同窓生へのお礼の言葉、引き続き協力要請がありました。

礼拝は、英文科卒業生で、米国改革派教会宣教師ブラウネルのぞみさん、奏楽は林めぐみさんにお願い致しました。聖書申命記6章4～5節、マタイによる福音書5章1～12節を朗読され、「私たちの喜び」と題してお話されました。神の国とは何か、誰も行つたことがなく、また帰つて来た人もいません。自分ではどうすることもできない人、弱さや限界を知つている人、悪に心を痛める人、逃げ場のない人、競争できない人等がイエス様の処に寄つて行き、イエス様と向き合う時、大きな愛に包まれることを感じるので。愛の声から引き離すことはできません。そして、心中に神とともに居る幸せを感じると、とても分かり易くお話ししていただきました。

総会に移り、大学同窓会を代表し、小林周子Fグループ会長の挨拶の後、奥田義孝理事長より、少子化の中、今年度の志願者が大幅に増え、入学者



も増えたとのうれしいお話と、音楽学部の新しい取り組みについてのご説明がありました。また、鈴木佳秀学院長より、創立150周年カウントダウン企画について、今年は、11月10日(土)カイパー記念講堂で、「横浜」をテーマに開催されるので、皆さまご参加くださいとお説いて頂きました。

秋岡陽学長は、建学の精神である“キリスト教・女子教育・For others”を守り、大学の変革を進めていきたい、また、今年の卒業生の大学に対する満足度調査が95%に達したとのうれしいご報告もありました。その後前記お三方のほか、谷知子副学長、井上恵美子文学部長、木曾順子国際交流学部長、立神粧子音楽学部長、藏田雅之演奏学科教授、小川厚史山手事務室長、衛藤怜子白菊会会長をご紹介いたしました。その後、曲歌つていただき、全員で校歌を歌い記念撮影をして、それぞれの会場に向かいました。来年は、6月8日(土)、山手で開催する予定です。皆様、お誘いあわせの上、ご出席くださいますようお願い申し上げます。



紫甫さん
に中田喜直先生の
作品を3
Fグループの畑中

金香男国際交流学科主任、佐々木在大学事務部長、川本淑子大学事務部次長、小川厚史山手事務室長、衛藤怜子白菊会会長をご紹介いたしました。その後、

も増えたとのうれしいお話と、音楽学部の新しい取り組みについてのご説明がありました。また、鈴木佳秀学院長より、創立150周年カウントダウン企画について、今年は、11月10日(土)カイパー記念講堂で、「横浜」をテーマに開催されるので、皆さまご参加くださいとお説いて頂きました。

秋岡陽学長は、建学の精神である“キリスト教・女子教育・For others”を守り、大学の変革を進めていきたい、また、今年の卒業生の大学に対する満足度調査が95%に達したとのうれしいご報告もありました。その後前記お三方のほか、谷知子副学長、井上恵美子文学部長、木曾順子国際交流学部長、立神粧子音楽学部長、藏田雅之演奏学科教授、小川厚史山手事務室長、衛藤怜子白菊会会長をご紹介いたしました。その後、曲歌つていただき、全員で校歌を歌い記念撮影をして、それぞれの会場に向かいました。来年は、6月8日(土)、山手で開催する予定です。皆様、お誘いあわせの上、ご出席くださいますようお願い申し上げます。

りべるて

Vol. 30
家政科同窓会

Vol. 30
家政科同窓会

りべるての皆様



間、勉学はもちろんですが、キリスト教の教えを学び、素晴らしい先生方の人間性に触れ、生涯の友を得られた方も多數いらっしゃいます。

この一年、各種教室を開催して参りました。年々参加人数が増え、残念ながら定員を設けざるを得ない教室もござります。行事予定をご覧になりお申込みください。

み下さいますよ。お願いいたします。
また、年間を通して住所変更等を受け付けております。転居や住居表示変更がございましたらりべる今までご連絡ください。
りべるでは、これからもフェリスと同窓生をつなぐ役割を第一に活動して参りますので、引き続き変わらぬご支援、ご協力をお願い申し上げます。

りべるて会員の皆さま、いつもよりべるての活動にご理解とご協力をいただきますてありがとうございます。今年も会報をお届けできることは、寄稿ならびに編集にご尽力くださいました皆さまのおかげと厚く感謝申し上げます。

家政科は、1989年に幕を閉じてより今年で30年となりました。そこで10月18日(木)、横浜ロイヤルパークホテルで「30周年記念会」を行うこととしました。現在、参加の申し込みを受け付けておりますが、北は北海道より南は鹿児島まで、全国各地より多数のお申し込みをいただいております。

今回の記念会を開催するに当たり、学院からは多大なご理解、ご協力を頂きました。「ご出席の皆様からいただいた会費を学院150周年募金に寄付する」旨書き添えましたところ、「出席はできませんが、寄付に・」とのお申し出も多数いただき、りべるての皆様のフェリスへの温かい思いを改めて強く感じた次第です。8月末日まで参加申し込みを受け付けておりますので、どうぞご参加ください。



行事予定

10月18日(木)

家政科同窓会

横浜ロイヤル

1323

家政科同窓会りべるて30周年記念会
横浜ロイヤルパークホテル芙蓉
1月2日・3日(金・土祝)

1月23日（水）
大村先生ステンドグラス教室
2月6日（水）

2018年度役員

新役員 会計監査 会員登記 会長
小倉由紀子 鈴木和恵
北村周子 杏林初枝
遠藤木美子 金子和恵
池田昭子 伊藤大崎
石井克子 三谷京子
岩江真理子 美智子治
田原裕子 吉子治
倉掛典子 由記子
三藤吉子 美智子治
郷吉子 由記子
村本とよ子 伊藤純子

D D D D D D D D D D D D D D D D D D D
52 52 52 52 45 43 57 55 54 51 35 61 43 45 43 44 43 51

会報りべるて 30号まで

<p>Vol. 5 1993.3 2号館前庭の水蓮</p> <p>前任の会報担当石川さんから引き継ぎ、山手美術工房さんと原稿用紙に書いていた記事の字数を一字一書きつちりと数えての手作り会報でした。</p>	<p>Vol. 4 1992.2 山手通りより校舎とつつじ</p> <p>前年から野毛印刷さんに変更し、記事も原稿用紙でなくワープロでも字数を多少オーバーしても所定の場所に収まる様になりました。</p>	<p>Vol. 1 1989.3 6号館</p> <p>1989年3月11日(土)フェリス女学院短期大学家政科が40年の歴史に幕を下ろした記念バーイティの出席者アンケートにより、同窓会りべるてとなつて、初めての会報が発行されました。</p>
<p>Vol. 14 2002.9 新カイパー記念講堂</p> <p>りべるて独自で発行してきました。会報も、次回からは大学3同窓会でひとつの会報を発行する事になりました。</p>	<p>Vol. 12 2000.9 家政科記念館</p> <p>前年から野毛印刷さんに変更し、記事も原稿用紙でなくワープロでも字数を多少オーバーしても所定の場所に収まる様になりました。</p>	<p>Vol. 9 1997.9 旧2号館階段となるすべり</p> <p>りべるて総会・恩師登場 活躍する同窓生や散策記等紙面も充実してきました。</p>
<p>Vol. 20 2008.8 緑園キヤンパススティンドグラス 合同No.6</p> <p>フェリスホールパイプオルガン</p> <p>会報りべるても20号を迎えました。りべるて20周年記念会が3月29日(土)山手6号館で懇親会は学院本部3階大会議室にて開催され200名の出席がありました。</p>	<p>Vol. 17 2005.8 合同No.3</p> <p>カイパー記念講堂と花</p> <p>フェリス周辺の見学会や講習会等定着してきました。特に各講習会は好評でして申し込みただいても定員オーバーでお断りする事もありました。</p>	<p>Vol. 26 2014.8 合同No.12</p> <p>カイパー記念講堂と花</p> <p>フェリス周辺の見学会や講習会等定着してきました。特に各講習会は好評でして申し込みただいても定員オーバーでお断りする事もありました。</p>
<p>Vol. 30 2018.8 合同No.16</p> <p>カイパー記念講堂と花</p> <p>5号から携わり、アップと同時に30号になりました。</p>	<p>先生のご指導の元、皆様の足を引っ張らないように必死</p> <p>でしたが、『絵織物』はこういうふうに織っていくのね」と解り、作品が出来上がっていくと、とても嬉しくなりました。</p> <p>麻糸や変り糸を組合わせて、とてもセンスある配色や先生の素敵なお手</p> <p>かげで、私の「花に囲まれた家」が完成しました。</p>	<p>お教室では矢吹先生が醸し出す、とても素敵な空間の中、同窓生の方々と楽しい時間を共にできて本当に感謝いたします。又、矢吹先生と役員の方々に心よりお礼申し上げます。</p> <p>(D 52 大崎由記子)</p>

北欧絵織物教室

No. 1
1989.7

Vol. 9
1997.7

Vol. 15
2003.8 合同No.1

Vol. 23
2011.8 合同No.9

1月31日、矢吹恵子先

生の北欧絵織物教室に、初めて参加させていただ

きました。

9日前に首都圏では大雪となり、積雪が4年ぶりに20センチ越えたとのことでいたが、金を創設しました。

調べてみると、みなとみらい線の元町・中華街駅からエスカレーターに乗れば、

当日は穏やかな天気で何よりでした。



ステンドグラス教室

私は昨年、友人に誘われて初めてステンドグラス教室へ参加いたしました。今年も2月7日、楽しみに参加させていただきました。役員の皆さま、毎年お世話さまでございます。今年はどんな作品が作れるか、ワクワクしていました。今回も、先生が干支の犬をデザインした可愛い柏犬でした。このお教室は、先生が素敵な色とりどりのガラスをカットしてくださり、お嬢様とお二人で丁寧なご指導をしてくださるので、初めての方でも、家族やお友達に自慢となる作品を制作できることが、とてもうれしいです。



私は、2月にスペインへ旅行し、サグラダファミリア、アルハン布拉宮殿など素晴らしいステンドグラスに感動して帰つてまいりました。我が家リビングで、狛犬のステンドグラスが朝日、夕日に輝くひと時は、なんとも心和む時間です。



来年は、孫の干支である猪、今から楽しめます。年を重ね、良いものだけを残していきたいと思うようになり、このお教室に出会えて感謝しております。そして、母校に、友人と共にあの坂道を登つてくると、学生時代が懐かしく思い出されます。

(D51)

浅野眞理子

ビーズ教室

7月5日、蒸し暑く時折雨の降るあいにくのお天氣でしたが、14名の参加を得て、小倉志保子先生のビーズ教室を開催いたしました。



今回は、天然石でイズのさざれ石を120個も使ったラリエットです。はじめに先生の作品を拝見して、おしゃれなデザインに期待が膨らみました。作り方の説明を受けて、ターコイズと黒のシードビーズを交互に糸に通し、先端にブルーのアクリルビーズを付けます。

極小のシードビーズは穴が小さいので糸を通すのに苦労しながら、また、分らないところを先生に教えていただきながら、皆さま2時間ほどで完成させていました。鏡の前で付け方を工夫し、とても嬉しそうにお互いに感想を話し合っていました。初めて参加された同窓生もすぐに打ち解け、年代を超えて楽しくおしゃべりをしながら作品を作りました。その後、昼食をいただきながら、学生時代の思い出話に花が咲き、楽しいひと時を過ごしました。



来年は、7月に先生にお願いいたしました。また素敵なデザインを考えてくださるそうですので、どうぞご参加ください。

転居・住居表示変更のために、郵便物が届かない方が増えています。
変更がありましたら、リバース宛お知らせください。
TEL・FAX 045-662-0750 (第一木曜日は閉館)

お願い

バザーのお知らせ

11月2日（金）3日（土・祝）家政科記念館においてバザーを開催いたします。バザー当日に販売します未使用の日用雑貨品等ございましたら献品くださいますようお願いいたします。
受付期間…11月1日まで 受付場所…家政科記念館

■2017年度決算報告書 (2017年4月1日~2018年3月31日)

科目		金額
受取事業付の寄そ小計	利息費(グッズ販売、バザー)	95 357,223 0 0 357,318
前年度繰越金	9,593,896	
合計	9,951,214	
支出		
奨学金基金寄付金	500,000 1,073,917	
交際費(グッズ)	30,000 39,112	
事業小計	1,643,029	
次年度繰越金	8,308,185	
合計	9,951,214	
繰越金明細		
定期貯金(株式会社ゆうちょ銀行)	2,662,006	
定額貯金(同上)	3,027,000	
通常貯金(同上)	768,425	
通常貯金(同上)	1,468,342	
普通預金(横浜銀行)	382,412	
合計	8,308,185	

■2018年度予算

科目		金額
消耗品費	120,000	
（事務用）	10,000	
（その他）	110,000	
旅費・交通費	410,000	
通信・運搬費	940,000	
（郵便料金）	930,000	
（宅急便）	10,000	
印刷・製本費	800,000	
報酬・手数料	2,000	
会議・会合費	100,000	
諸会費	100,000	
涉外費	100,000	
雜費	90,000	
修繕費	0	
事業費	0	
寄付金	0	
30周年記念会費	1,100,000	
合計	3,762,000	

会長 金子和恵
会計 石井亮子
池田昭子

監査の結果、相違ないことを確認いたしました。 2018年5月17日

監査 郷ひづ美
浅見治美

Fグループの皆さま

会長 小林 周子（29回）



会員の皆さん、日頃よりFグループの活動にご理解ご協力をいただきありがとうございます。

昨年11月に創立150周年記念募金コンサートを開催いたしました。ご指導の先生も含め、ほぼ全員会員による演奏会



2019年度からの新・音楽学部について 音楽学部長 立神 粧子

同窓会の皆様、いつも音楽学部への叱咤激励をありがとうございます。重大なご報告を申し上げます。音楽学部は2019年4月より現行の2学科体制から1学部1学科体制に学部改編を行うことが決まりました。来年度からは現音楽芸

術学科を母体に演奏学科分の30名を加えた定員75名の「音楽学部 音楽芸術学科」1学科となります。

新しい学科の特徴は三つあります。第一は、学生の主体的な学びを中心としたカリキュラムです。現代社会の多様なニーズに応える10ゼミナールを用意し、全員がゼミに入つて「社会とつながる」ことをテーマに、各自の専門を通して社会力、人間力を身につける。第二は、グローバルな力を身につけるためにフェリスの持つ伝統と資源を最大限に利用するリ

さて、音楽学部は来年度より新たな歴史のページを開いていくようです。昨今の音楽教育を取り巻く厳しい環境の中で現状を踏まえたうえでの改革で、すでに提示されている様々なカリキュラムは時代にあつた魅力的なもので、演奏を主眼として勉強をしていきたい方々にも從来通りのレッスン時間を確保でき、さらに多くの皆さんにご利用いただければ幸いです。

卒業生とその生徒さんのための山手の丘合同発表会も3年目を迎え、今年は100名を上回る出演者となり、直接お役にたてる企画として成長しております。

丘合同発表会も3年目を迎え、今年は100名を上回る出演者となり、直接お役にたてる企画として成長しております。

丘合同発表会も3年目を迎え、今年は100名を上回る出演者となり、直接お役にたてる企画として成長しております。

丘合同発表会も3年目を迎え、今年は100名を上回る出演者となり、直接お役にたてる企画として成長しております。

私たち音楽学部との懸け橋としてこれからも変わることなく応援してまいりたいと思います。今春、新たに86名の会員の皆さまをお迎えし、さらに充実した活動をしていきたいと思っています。

いかなる職業にも語学力と異文化理解は不可欠です。第三は、充実したパフォーミングアーツ（PA実技）科目群の開講です。各種個人レッスンや実技系のクラス演習授業は別途有料科目になりますが、各自の実力とニーズに合わせて自由に選べます。個人レッスンも15分、30分、45分と3種類あり、45分のレッスンを履修すれば専攻実技と同等の勉強ができる大学院への進学もこれまで同様に可能でしょう。

テーション」は演奏でも、自分が高校卒業までに達成したことや制作した作品などに関する口頭発表でも可能です。センター入試以外の1月以降の入試は、「国語」と「英語」の高校までの基礎学力での入試となります。

今回の改革では学部の形を大きく変革しますが、「音楽」を現代社会の中で捉えなおし、本大学の資源を最大限に生かすと同時に音楽の力を最適化して發揮させるための前向きな改革であります。どうか引き続き同窓会の皆様からのご理解とご支援を心よりお願い申し上げます。

～Fグループ ご寄付のお願い～

近年非常に厳しいFグループの運営に卒業生の皆様からのご支援を頂戴できれば大変有難く存じます。一口2,000円からお受けいたします。

〈振込先〉ゆうちょ銀行

00280-3-75184

〈加入者名〉Fグループ

通信欄に「Fグループ寄付」とご記入ください。

様々な情報はホームページでお届けしております。是非ご利用ください。
最後になりましたが、変わらぬご支援をお願いするとともに皆さまのご健勝をお祈り申し上げます。
ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

ジョイントコンサート

17年9月16日(土) フェリスホール

三連休の初日、朝から生憎の雨模様でしたが、145名ものお客様にお運びいたしました。盛会のうちに終了しました。

7組の同窓生が出演し、真摯に勉強を重ねていることがよくわかるフェリスの良さが存分に出た演奏が繰り広げられました。



当日は、Fグループのホームページやフェイスブック・ツイッター等のSNSと連携し、随時写真がアップされ、ご来場いただけなかつの方にもリアルタイムで情報を手にしていただきました。

担当 小清水桃子(55回)

森本真菜(55回Pf)
亀岡聖子(49回Vo) 高橋牧子(賛助Pf)
犬飼美奈(48回Vn) 宍戸恵美子(賛助Pf)
岡部ゆかり(30回Vo) 久保井明子(31回Pf)
笛本有子(44回Pf) 岩男潤子(47回Pf)
阿久津世千子(36回Pf) 小瀬美穂(42回Vo)
佐々木淑子(36回Fl) 樺原綾(28回Pf)
【ジョイントコンサート出演者募集】
Fグループ会員でしたら出演できます。
書類審査がございますので、Fグループ事務局にお問い合わせください。

音楽の贈り物

～フェリスホール コンサート～

♪ジョイントコンサート

2018年9月15日(土) 15:00開演
全席 1,000円

【出演】

豊田有美(60回Vo) 高柳圭(賛助Vo)
漆間有紀(58回Pf)
柳沢真美(63回Pf) 平沼由季(50回Pf)
太田三美(35回Vo) 堀内陽子(31回Pf)
桃原健一(賛助Ob)
樋口かおり(44回Pf) 安藤美保(44回Pf)
樺沢宏美(49回Pf) 松葉真理子(48回Pf)



♪フェリスアーベント

2018年10月26日(金) 19:00開演
全席 2,500円

【出演】

田口純子(24回Pf)
藤田直子(32回Vo) 小倉一美(30回Pf)

【プログラム】

シュテルツェル/あなたがそばにおられるなら
(アンナ・マグダレーナ・バッハのための音楽帳1725より)
A.ドヴォルザーク/ジフシーの歌 作品55
C.ドビュッシー/前奏曲集第1巻 他

♪第5回 山手の丘合同発表会

2019年3月21日(木・祝) 10:30開演予定

【参加者募集】

応募期間 2018年9月6日～12月12日

参加資格 Fグループ会員

Fグループ会員のレッスン生

*第6回は2019年8～9月開催予定

お問合せ・お申込み Fグループ事務局
045-681-6740(木曜日10時～17時)
E-mail : ferris@fgroup.jp

150周年記念募金コンサート

17年11月4日(土) フェリスホール

爽やかな秋晴れの中、280名ものお客様に足をお運びいただきました。

オルガンの小清水桃子さん(55回)、ピアノの中野真帆子さん(34回)、名倉淑子先生・井上雅代先生のご指導による

Fグループアンサンブルの皆様が、バッハ、ショパン、シューベルトの大曲が並ぶプログラムを演奏して

くださいました。フェリス女学院の音楽専門教育70年間、脈々と受け継がれ培われてきたフェリスの美しい響きを堪能いたしました。

また第6部には28回生が揃って5組出演「同期生コンサート」のような雰囲気で会を盛り上げました。

2019年から発表会は年2回開催いたします。卒業生のお弟子さんの発表会として、また卒業生自身が演奏する場としても喜んで活用いただければ嬉しく存じます。

また第6部には28回生が揃って5組出

演「同期生コンサート」のような雰囲気で会を盛り上げました。2019年から発表会は年2回開催いたします。卒業生のお弟子さんの発表会として、また卒業生自身が演奏する場としても喜んで活用いただければ嬉しく存じます。

担当 金子明子(43回)

*連絡先 Fグループ事務局
委員長 太田康子(22回)

第4回 山手の丘合同発表会

18年3月21日(水祝) フェリスホール

第4回山手の丘合同発表会は109組の参加者を迎えて開催いたしました。当日は雪の中、多くの来場者に恵まれました。

ピアノや声楽の他に、ヴァイオリンやチエロも加わり多彩なプログラムになりました。

また第6部には28回生が揃って5組出

演「同期生コンサート」のような雰囲気で会を盛り上げました。2019年から発表会は年2回開催いたします。卒業生のお弟子さんの発表会として、また卒業生自身が演奏する場としても喜んで活用いただければ嬉しく存じます。

ありがとうございました。

担当 廣田晴美(53回)

【選舉管理委員会のお知らせ】

2018年度に任期満了となるFグループ会長の選舉を会則に基づき執り行います。任期は2019年度から3年間です。

自薦他薦に関わらず、選舉管理委員会までご連絡ください。

担当 廣田晴美(53回)

【選舉管理委員会のお知らせ】

2018年度に任期満了となるFグループ会長の選舉を会則に基づき執り行います。任期は2019年度から3年間です。

林佑子先生を偲んで

非常勤講師 宇内 千晴



初めてお目にかかるのは1989年夏、岐阜県白川町で行われた「第5回イタリアオルガン音楽アカデミー」に参加した時でした。

世界的なオルガニストの前で演奏することにドキドキしていた私でしたが、演奏後の最初の一言は、「いいじゃない。」そして「ここはこうすると良いと思うのだけれど、どう思う?」林先生のレッスンは、決して押し付けない、自分で考えさせる、そこに書かれている音楽を最大限引き出してくれるものでした。

その後、「フェリスで教えない?」と声をかけてください、フェリスへと導いてくださったのです。フェリスでは、林研究室を立ち上げ、学生のみならず、若手のオルガニストたちにも研鑽の場を設けてくださいました。そこで得た学びや人との繋がりは、今でも私の大切な宝となっています。林先生から教えていただいた人と音楽を大切にする心を、今後も目の前にいる学生たちに伝えていきたいと思っています。

水本雄三先生を偲んで

大橋 ゆかり(35回)



背が高く、学校ではいつもスリーブ姿だった水本先生。

新曲をくださる時は、まるで本棚の本を取り出しますようにその曲名を仰り、弾いてきた曲に対しては「この先も常に弾き続けて自分のレパートリーにしなさい」と。

大人としてピアノに向かう姿勢を教えてくださった水本先生の生徒であること感謝と共に心よりご冥福をお祈りいたします。

中部支部

支部長 牛込 まり(25回)

昨年も年3回演奏会を開催しました。

ふれっしゅコンサートは、黒川先生をお招きして同窓生とのジョイント、秋は、落合先生をお招きしてのジョイントコンサートでした。どちらのコンサートにも大学の先生にお越しいただき、贅沢な一年になりました。

今年は名古屋市の会場が一斉に耐震工事等に入り、秋のコンサートのみになります。落合先生にお越しいいただき、新卒生とコーラスのジョイントの予定です。



ジュニアコンサートは今池のガスピルで12月に開催します。生徒さんは出演をご希望の方は中部支部へご連絡ください。

九州・山口支部

支部長 村上 京子(24回)

九州山口支部では、毎年夏にジョイン

トコンサートを開催しています。昨年は大学からヴァイオリンの戸田先生とピアノの堀先生をお招きし、卒業生の山本紗栄子さん(Pf)野田和佳子さん(Vo)と、新卒の田中美帆さん(Pf)黒川青葉さん(Vo)を交えて7月2日に開催し、ご来場の皆さんに楽しんでいただきました。

今年の開催は、7月8日の予定です。又11月2日には音楽学部担当の西南支部同窓会があり、学院長の鈴木佳秀先生とFグループの小林周子会長の御臨席を頂き、分科会ではFグループの活動並びに支部長の交代を報告いたしました。

コンクール受賞報告

* 朝緑和恵(35回)

第25回太陽カンツォーネ・コンコルソ本選会 ポピュラー部門入賞

* 中川彩(61回) & 遠藤夏季

第5回寝屋川市アルカスピアノコンクールデュオ1台4手連弾グランプリ部門

グランプリ・寝屋川市長賞

* 齊藤舞(56回)

第16回中田喜直記念コンクール 三浦洋

一記念伴奏賞 NHK旭川放送局賞

* 鈴木彩音(63回)

第17回中田喜直記念コンクール 大賞および中田喜直賞

多くの方のご賛同・支援、そしてご来場をお願い申し上げます。

活動を応援していくような形づくりを検討中です。

第一記念伴奏賞

NHK旭川放送局賞

第17回中田喜直記念コンクール 三浦洋

卒業生だより

勝田佳捺絵(64回)

チエロに明け暮れた学生時代が過ぎ去り、会社経営2年目に突入しました。きっかけは卒業後の短期英国留学。そこで出会った運命のものは、ドライフルーツとナツツを主原料とする砂糖不使用のオーガニックバーでした。

大学3年次、「起業家育成講義」を受講したことから起業が身近な存在だったこともあり、「この商品でジャパンブランドを作る!」と誓い会社を設立。日本初の専門メーカーとしてスタートし、皆様のお力添えのお陰で、今日まで順調になりました。ありがとうございます。

昨年はベルギーで開催される食のコンペティション「モンドセレクション」に挑戦し、初出品にして最高位となる最高金賞を受賞いたしました。

私は今のが好きで、3月24時間頭の中はバーのことでいっぱい。就職せず起業することに反対の声はあります。ですが、自分を信じ、今の道を選んで良かったと心から思います。

23歳の当時は、

少し勇気がいる選択ではありましたが、自分が挑戦したい道があるのに、違う道を選ぶことこそ間違った選択であると気付きました。以降、どんな状況下でも、本当に自分のやりたいことを実行する勇気を持ち、「Seize the day (今を生きる)」を座右の銘にしています。



プロフィール

2015年フェリス女学院大学音楽学部演劇学科卒業。チエロを藤村俊介氏に師事。卒業後、英国短期留学を経て、2016年Bardon株式会社設立。「Kanae Bar (カナエバー)」というブランドで商品を開拓し、オンラインストア(他、代官山、京都、フェリス女学院大学丸善ギャンバッシュ)で販売中。

グッズのご紹介

フェリス音楽教室

こどもたちとともに63年
60周年を終え新しい
ページが始まりました!

大人向けレッスン受講生募集中

毎週水・土曜日
音楽学部校舎で授業

<山手教室>

045-212-2396

<緑園教室>

045-813-1070

<http://www.ferrismusicinst.org>

新役員紹介



創立150周年記念募金活動の一環として、岡崎光子さん(11回)デザインのチャリティーカードに新作が仲間入り。「音楽シリーズ」「クリスマスシリーズ」各セット6柄入り500円で販売しています。売り上げは全てフェリス女学院へ寄付いたします。

また大人気のA4クリアファイル(オルガン)は完売のため、再販を決定しました。好評の表面デザインはそのままに裏面を一新、ご期待ください。

グッズはHP、事務局、Fグループ主催のコンサート会場等にてご購入いただけます。

たします。HPよりお問い合わせください。

Fグループホームページ
随時更新中!


<https://fgroup.jp>

* 山手602教室は同窓生がご利用できます。ピアノが1台有り、伴奏合わせ・アンサンブル・同期会などにご活用いただけます。詳細は事務局までお問い合わせください。

* 演奏会の後援、宛名シールの印刷、校章使用については事務局へご連絡またはHPから申請してください。

* 住所・姓・電話番号の変更・慶弔(先生・同窓生)などをお知らせください。

〒231-8651 横浜市中区山手町68
Tel. 045-681-6740
Email ferris@fgroup.jp

Fグループ2017年度決算報告

(2017年4月1日~2018年3月31日)

(収入の部)

科 目	決 算 額
終 身 会 費	3,510,000
総 会 費	50,000
ジ イ ン ト 会 費	240,500
研 修 会 費	0
合 同 発 表 会 費	0
宛 名 申 ル	667,300
ハ ー ト フ ル コンサート	2,700
ダ ッ ズ 販 売	89,790
寄 雜 取 入	140,030
募 金 コ ン サ ト	132,000
小 計	91,055
前 年 度 繼 越 金	3,136,287
収 入 の 部 合 計	9,131,055

(支出の部)

科 目	決 算 額
(1) 運 営 費	1,459,152
会 議 費	7,974
印 刷 費	53,189
通 信 費	145,614
人 事 件 件 費	704,280
交 事 務 消 耗 品 費	66,752
出 備 張 通 費	41,391
交 学 年 幹 事 会 費	0
特 別 委 員 会 費	312,000
雜 予 備 費	46,294
動 費	0
総 会 関 係 費	81,658
研 修 会 関 係 費	0
テ ィ ー タ イ ム 関 係 費	0
会 報 関 係 費	618,319
ジ ョ イ ン ト 関 係 費	75,927
リ サ イ タ ル 関 係 費	93,000
支 部 関 係 費	496,760
慶 弔 関 係 費	54,000
合 同 発 表 会 関 係 費	196,307
募 金 コ ン サ ト 費	206,570
予 備 費	0
(3) 諸 会 費	1,432,430
連 絡 会 維 持 費	70,000
維 持 協 力 会 費	300,000
寄 附	1,062,430
(4) 積 立 金	0
名 簿 積 立 金	0
積 立 金	0
(5) 予 備 費	0
支 出 合 計	5,023,601
次 年 度 繼 越 金	4,107,454
支 出 の 部 合 計	9,131,055

監査の結果、妥当かつ正確であることを確認しました。 2018年4月19日
Fグループ 会計監査 熊本 美也子
楠瀬 由佳理

F グ ル ー プ 会 報 編 集

八木 笑子(39回)

藤原 律子(47回)



りてら会員の皆さま 会長 小澤 美智子 (1970)

ましたことをご報告いたします。

又、一五〇周年記念カウントダウン企

画も二年目となります。昨秋は「キリスト」と「フェリスのまなび」をテーマに中高・大学生の座談会や合唱など、「フェリスのかおり」漂う感動的な会が開催されました。今年も十一月二〇日に「横浜」をテーマに、音楽にあふれた企画がALFERRISで計画されています。詳しくはホームページに掲載いたしますので、皆さまのご来場をお待ちしております。

五月に開催されました今年度第一回学年幹事会に於いて、新役員が承認されました。本期も大学・学院と同窓生を結ぶ懸け橋となり、年代を超えて同窓生が楽しく集える場をご提供することを念頭に、役員一同四八年の歴史ある母校のお役に立てる喜びをもつて務めさせていただ

Ferris Festival 2018は、11月3日(土・祝)・4日(日)の2日間行われます。今年度のテーマは「WA!～輪・和～」です。このテーマには、大学祭を通じて私たちフェリス生と来場者の皆様とが繋がりを持てるように、そして来場者の皆

様全員が笑顔で幸せな気分になれるように、という願いが込められています。大學生祭に関わるすべてのスタッフの思いが、ご来場の皆様へ伝わり、少しでも前向きな気持ちになつていただけます。昨年度よりもパワーアップした大学祭をお届けできるように、フェリス生一同頑張って準備してまいります。皆様には当日緑園キャンパスに足をお運びいただけましたら幸いです。どうぞよろしくお願いいたします。

りてらでは「りてらサポート」を募集しております。サポート会員の皆様に、年次に数回行事の際のお手伝いをお願いしております。登録されたメールアドレスに一斉送信で内容や日時をお知らせし、その日ご都合の合う会員にお手伝いください。

バリアフリー推進室

代表 後藤詩歩

く所存です。そして数年来皆さまにお伝えして参りました五〇周年記念事業、学院共通事業としての山手六号館改修工事内容の計

担当でいたすことにより、尚一層同窓会を身近に感じていただけることになりました。同窓生が集まる場を持つことは、りてら設立以来の長年の夢でございました。ご計画に感謝申し上げます。

先の幹事会に於きまして、この記念事業へのご寄付が承認されましたので、六月の総会(同窓生のつどい)にて二千万円の目録を鈴木学院長に贈呈させていただきま

す。

最後に、皆さまの住所管理は大学からの委託を受け、同窓会事務局で一括管理しております。大学・学院からの情報を得ておられます。詳しく述べてください。

私達バリアフリー推進室は、今年で10周年を迎えることができました。先日はパリアフリー推進室で今まで活動して下さった先輩方と現役生が交流する機会を持つことができ、引き続き他者のために寄り添えるような活動をしていきたいと思いました。

私は、主にキャンパスのバリアフリー化と障がい学生のサポートを中心に行っています。キャンパスのバリアフリー化では、大学内のマップを作成し、車イスを利用している方でもスムーズに移動できるよう工夫致しました。また、障がい学生のサポートでは、有意義な大学生活動を送れるようサポート体制を整えています。

今後もバリアフリー推進室の活動を通して、少しでも多くの方々に貢献できるよう、学生スタッフ、コーディネーターと努力して参りたいと思います。

大学祭実行委員会

2018年度委員長 音楽学部音楽芸術学科3年 鈴木夏海

キャンバスだより



「新しい仕事を始めて」



副学長 谷口 昭弘

フェリスに来て7年目となりました。

それ以前は大学といつても地方の国立大学で短い間非常勤講師をしただけで、博士号を取って以来、大学とは離れた生活をしていました。2012年4月、

大学に勤めるということになつて横浜に引っ越し、最初は訳も分からず、とにかく毎回の授業の準備で深夜まで起きていました。女子大といふのも、最初はとても新鮮な体験でした。

ここ数年はさすがに慣れてきたという感覚もあったのですが、突然今年度から副学長を拝命することになり、またもやあたふたする毎日が戻ってきた

ように思います。私の務めは「事業推進担当」となつており、企画広報を核とし、大学そのものがどんなものなのか、どういう状況にあるのか、学生から見てどういった魅力を持っているのか、何

が起こっているのかなどを発信すると、いろいろなことを行っています。と書きながら、現実はまだ仕事の全体像がつかめないまま次から次にやつてくる書類に対応し、打ち合わせに出席し、会議で報告をするというのをがむしゃらに続け

ているというのが本当のところです。そんな中で、いろいろとご迷惑をおかけすることもあり、この原稿も大幅に縮切を過ぎての提出となつてしましました。

さて、これまでの私は研究教育活動以外に音楽芸術学科の主任を勤めていましたが、そのやり取りは同じ学部の先生方を中心に回っていました。しかし副学長となつた現在は、全学規模の話合いに参加したり、事務の方と頻繁に打ち合わせしたり、理事会に陪席したりという中で、大学というものはこういう風に回っているのかということを改めて、別の視点から実感するようになりました。これもまた新鮮で面白く、やりがいを感じています。

一方、大学の魅力を発信する広報という仕事をしていく感することは「ないものねだり」よりも「あるもの探し」が大切だということでしょうか。もちろん大学にも解決すべき問題というものはあるでしょう。しかしそれで、この大学で起こっている様々な改革の波の中で、現在のフェリスが持つ力を探る上でも、解決すべき問題といつてもいいのです。そこで、この度は、山手6号館を全面改修し、150周年記念館（仮称）とする記念事業が学院共通で進められています。教室機能を維持し、常設の資料館を設置するほか、各同窓会室、または分室の新設と、卒業生も利用できるセミナールームの設置が予定されています。そのための支援と感謝の気持ちを込め、りてらより寄付金が贈呈されました。

在学生はもちろん、同窓生の集う場として、6号館は生まれ変わります。大学の事業として予定されている「女性のエンパワメント支援」に必要な施設も視野に入れ、多くの方に利用いただける施設を目指しています。

150周年記念事業



くりてら同窓生のつどいにて>



<現在の山手6号館>

りてら2017年度決算報告

(2017年4月1日～2018年3月31日)

●収入の部(円)

科 目	決 算
終身会費	1,020,000
追加通信費	1,235,000
預金利息	3,568
雑 収 入	13,000
取 入 小 計	2,271,568
前年度繰越金	35,311,552
取 入 合 計	37,583,120

●支出の部(円)

科 目	決 算
総会関連費	964,240
会報関連費	2,158,614
クリスマスカード費	1,146,617
企画費	0
会議費	250,913
卒業・入学関連費	764,821
大学祭費	0
寄附金	1,000,000
就職支援費	0
際際費	22,484
人交際費	70,000
人交通費	1,163,977
件通信費	154,040
パソコン関連費	141,708
ホームページ関連費	241,195
リース費	271,902
印刷費	64,800
事務消耗品費	48,873
手数料費	77,350
備品費	2,752
備品費	0
予備費	8,850
支 出 合 計	8,553,136
次年度繰越金	29,029,984
合 計	37,583,120

同窓生だより

オープンカレッジの生徒となつて

27年6月、70才、卒業50年の年。りて
ら総会の葉書きが届き、記念すべき年と
思い、初めて出席いたしました。その時
オーブンカレッジ特別講義のお知らせ
を聞き、オペラ講座に足を運びました。
60才から本格的にクラシックバレエの
レッスンを受け、舞台経験も数回あるけ
れど、いつかは観客席に座るものと思つ
ていました。舞台を降りたら、オペラバ
レエを觀賞しよう、備えの勉強は早くか
らしておかなくてはとの心のスミにあり
ましたのでこれはチャンス!と思いつ
講しました。講座受講後すぐ手続きをし
オーブンカレッジの資料を手に入れま
した。他の講座内容も多岐にわたり、講
師陣の顔ぶれも立派なものでした。生涯
学習がうたわれる今日、意欲が刺激され
る感じがいたしました。

券を用意して文化会館で人と一緒に、昨年は先生に参加いたしました。今年も文化会館で事前講義、二チエ工劇場で字幕が少しきつかけでは受け、夢の夢を見ることが、生とは限りません。受講されて、生はヨリと一緒に受講されることは、「ノー」ですが、いつまでも学生時代、山町から魔女の今は緑園校らしいに行くまで、いろいろいっているうちには他の講座も!? と73才の元短大生はまだ夢を追っています。



グッズも好評発売中です！

オープンポーチ ¥1,000



A black denim tote bag with a small gold-toned emblem on the front. It has two handles and a shoulder strap.

三菱マルチペン ¥800

キヤンパスだよりもご案内させていただいておりますが、11月3・4日緑園にて大学祭が開催予定、りてらもオリジナルグッズの販売をいたします。ピンクの「のぼり」を目印に、皆さまお誘い合わせの上、懐かしいキヤンパスへお越し下さい。

今年度は、「お台場」・浅草・水上バス散歩を、10月23日(火)に予定しております。徳川家の名残を残す浜離宮恩賜庭園をガイドツアーで散策した後、お台場でランチ。そして松本零士氏が宇宙船をイメージしてデザインしたホタルナ船にて、隅田川の潮風を楽しみながら浅草へ、と江戸の風情を感じる小旅行を計画中です。是非皆さまご参加ください。なおご希望の方には成績二点満点の予想

小さな旅ぐらぶのご案内

同窓会より

役員紹介
会長 小澤美智子(1970-)
副会長 増田 紀子(1983F)
会計 山縣 幸子(1984I)
古谷ゆかり(1987F)
浅井 麻里(2002I)
書記 高坂 香子(2001I)



A photograph showing the Nijō Castle moat and garden area. In the foreground, there is a wooden walkway or bridge structure over the water. In the background, the traditional Japanese architecture of the castle buildings is visible under a clear blue sky.



フェリスと私 2

中国語教育にたずさわって

江上 幸子

先日久方ぶりにフェリスに行くと、さつそく「老師好（先生こんにはは）！」の声。中国語インテンシブクラスの学生だ。退職から一年以上経つても、キャンパスでよく「交換留学から帰ったばかりです！」「中国語検定合格しました！」と呼び掛けてくれる。

私がフェリスに赴任したのは、国際交流学部ができた一九九七年の二年前。多彩な語学教育をめざして、仏・独・西・中・朝の五言語にインテンシブコースを設けた。新カリキュラムの設計、ネイティブ教員の充実、国際交流プログラムの開設などと次々に作業に追われた。中国語でも清華大学と協定を結んで夏期現地研修、交換留学生相互派遣、清華中国語教員招聘と徐々に交流を活発化させてきた。中国の経済成長がまだ始まつたばかりの二十年前、夏期語学研修をおこなう清華大学周辺は今と違つて畑が広がり、生活の便も悪かった。恵まれた家庭の出身が多いフェリス生には、「こんな所で勉強するの？」とためらいもあつたようだが、三週間が過ぎると「もつと北京に残りた

い！」と涙の帰国になつた。最近の大学生は海外へ出ることに消極的と言われるが、中国語では清華大学のほか上海・華東師範大学、台湾・輔仁大学の三協定校に、現在も毎年六名ほどが一年間の交換留学をしている。留学などが契機となつて、これまで北京や上海で職に就いた学生も少なくない。「女性活躍」に制約の残る日本に比べて、おおいに社会進出している中国の女性の姿が、フェリス生の背中を押してくれているようだ。

フェリス生が留学に行くだけではなく、三協定校からも交換留学生を毎年迎えている。インテンシブクラスの学生を中心にして、留学生のチューターをつとめ、日本語と中国語を教えあつたりしている。一緒にになって留学生会を運営してくれたりもした。帰国してからも留学生たちはフェリスの研修団が訪問した際に顔を出していく、留学中の楽しかった思い出話を披露したり、また東日本大震災の時の緊張を語つたりしててくれる。両国に反中・反日感情が高まった時にも、

「ジャパンスタディーツアー」の体験などを紹介して、「フェリスは他とは違う！」と中国の友人たちに訴えていた。

毎年フェリスの中国語教育のため来校される清華の教員も、学生に大きな影響を与えてくれている。教員宿舎で餃子作りを教わつたり、言語センターで開催される「中国語カフェ」で気楽な会話を楽しんだり、鎌倉やディズニーランドへ案内したり・・・そんな活動が授業以外の実践的中国語学習の好機になつていている。

半年の招聘期間を終えて帰国された先生と、その後もメールで連絡を取りつづけ、個人旅行で北京を訪れた際ご自宅にお邪魔してご馳走になつたりする学生もいる。今年の春には、以前フェリスに来られた今は新潟大学に招聘されている先生が、横浜に立ち寄られ、フェリスの中国語の現職や非常勤の先生がたと談笑の機会をもつた。前回のフェリス赴任時の教え子とも、今なお交流が続いているとのことである。

フェリスのインテンシブコースは二年次に週六回机を並べて勉強する。二



りてら同窓会室

開室	毎週火曜日・木曜日 10時～16時 (大学の春・夏・冬期休暇中は閉室)
住所	〒245-8650 横浜市泉区緑園4-5-3 フェリス女学院大学内
電話	045-812-8692
FAX	045-814-8966
E-mail	http://littera.gr.jp info@littera.gr.jp

十五人というクラスサイズもあって、ここで育まれる友情は「一生もの」になるようだ。卒業後も時折クラス会を開いて、職場や子育ての経験・悩みを共有しあっている。癌になつた同級生を励ますと、寄書きの色紙が私にも回つてきたりする。フェリスでの出会いが生涯にわたつて学生たちの支えとなり、また切磋琢磨しあう刺激となつているのを目にするほど嬉しいことはない。学祭には毎年たいてい中国語インテンシブクラスが餃子などの店を出すのだが、卒業生たちはやがて子供を連れて訪ねてきててくれる。

中国が超大国となり世界で影響力を強める今、フェリスでの中国および中国語の学習体験がきっかけとなつて、国家間とは異なる若者同士の交流・理解が進めば何よりである。また、フェリス生が日本社会で輝くためにも、その体験が活かされてエンパワーメントに繋がることを心より願つていて。

同窓会支部だより

東京支部

昨年の東京支部総会は十月五日、例年通り浜松町東京會館で行われました。学院からは大学学長秋岡陽先生、また四同窓会会长の皆様もご出席下さい、一五〇周年に向けた様々な取り組み、計画を伺いました。私達、同窓会員もぜひ、何らかの形で協力してゆきたいと思いました。

午後は長くこの支部を支えて下さっている田中順先生の歌唱指導による「歌う会」美しい歌、懐かしい歌、そしてなじみ深い讃美歌など、会員が心をひとつに声をそろえて歌う素晴らしいを満喫したひとときでした。

十一月には新宿に開館した漱石山房記念館そして早稲田界隈を宮坂先生が案内してくださいり、興味深い文学散歩となりました。

新年一月の新春歌舞伎観劇や三月末の市ヶ谷でのお花見も例年通り、皆様と楽しむことができました。しかしながら昨今、会員の皆様および役員の高齢化、それに伴う催事への参加者の減少著しく、こうした活動の継続が年々難しい状況になつてきます。支部の今後については、今年十月の総会の議題として会員の皆様の様々なご意見を伺いながらじっくり話し合っていきたいと考えております。午後の講演は元三田文学編集長、加藤宗哉氏をお迎えして「遠藤周作」を公私にわたり語りつくしていただきます。お楽しみに。

支部長 多賀 礼子

関西支部

書朗読、清水前支部長のお祈りによつて始められます。今は年に一度の礼拝です、とおつしやる方々も多数いらっしゃいますが、それぞれカイパー記念講堂を思い浮かべつつ、一気にフェリスマードに包まれます。

昨年は鈴木学院長と金子りべるて会長

をお迎えして京都で開催しました。あいにくの雨でしたが、観光客が少ないのが幸いで、しつとりと落ち着いたたたずま

いの古都を味わうことができました。

総会会場は、京都、大阪、神戸と年毎に

巡つております。今年は大阪での開催で

す。JR大阪駅直結の便利な所ですので、

関西以外の方もどうぞお出かけください。

今年からの幹事さんは、幸田さん(りべ

るて)、山本さん、中川さん(りてら)です。

支部長 磯野 和美

30年度関西支部同窓会総会のご案内

日時 11月14日(水)
場所 ルユミエール大阪KARATO
電話 06(6485)7515
申し込み先 huusenusagi@hotmail.com

住所、氏名、卒業年度、学部明記のこと

西南支部

平成二九年度西南支部同窓会総会は昨年十一月、ホテル日航福岡で開催いたしました。学院長鈴木佳秀先生、同窓会Fグループ会長小林周子様にご臨席いただき

ました。礼拝は鈴木先生にお願いいたしました。

ベルリーブのハンドベルの演奏が始ま

り、今回は特別賛美としてオールフェリ

スの有志の皆さんとのコラスもありま

した。

中高同窓会、フェリス白菊会は建て替

えられた新しい校舎内の同窓会室で活

発な活動を続けています。様々な分野の

同窓生を皆さんにご紹介し、ティータイ

ムでお話を聞きしたり、カイパー・コン

サートでは演奏と美術展示で活躍を楽し

ませていただきます。またその収益金を

学院に寄附させていただいています。学

院の150周年に向けて中高同窓会どし

てさらに力強くお支えできたらと努力を

重ねています。また定期的に開かれてい

るサークル活動には大学同窓会の皆さん

のご参加もお待ちしています。

主のみ名を賛美します。

同窓会としていつも変わらぬお交わり

に感謝します。

合同で行われるクリスマス礼拝も定着

し、毎年たくさんの同窓生が共に集い、懐

かしい讃美歌を歌いともにクリスマスを

祝います。今年もたくさんの方の参加が

あることと思います。

中高同窓会、フェリス白菊会は建て替

えられた新しい校舎内の同窓会室で活

発な活動を続けています。様々な分野の

同窓生を皆さんにご紹介し、ティータイ

ムでお話を聞きしたり、カイパー・コン

サートでは演奏と美術展示で活躍を楽し

ませていただきます。またその収益金を

学院に寄附させていただいています。学

院の150周年に向けて中高同窓会どし

てさらに力強くお支えできたらと努力を

重ねています。また定期的に開かれてい

るサークル活動には大学同窓会の皆さん

のご参加もお待ちしています。

今年度のカイパー・サタデー・コンサート

は3月23日(土)にドイツで活躍中の小山

由美さん(メゾソプラノ)と平高朝輝子さ

ん(ビオラ)の演奏会を計画しております。

また伴奏はFグループ会長の小林周子さ

んにお願いしました。みなさまお誘いあ

わせてお出かけください。

フェリス白菊会会長 衛藤 怜子

フェリス白菊会より

●同窓会は外国にもあります

●ニューヨーク事務所

Mrs. Rakuko Kuwayama
136 West 24 St. New York, N.Y. 10011 U.S.A.
TEL 212-675-3840

●ハワイ事務所

Mrs. Chizu Hatakeyama
3043 Hollinger St. Honolulu, HI.
96815-4211 U.S.A.
TEL 808-735-1296 FAX 808-735-1579

●カリフォルニア事務所

Yoshiko Amemiya(1969J041)
923 Casanueva Place, Stanford, CA. 94305, USA
TEL. 650-857-9334 FAX. 650-857-9334
E-MAIL ayoshiko@hotmail.com

2017年度フェリス女学院
中高・大学同窓会 会計報告

(2017年4月1日～2018年3月31日) (単位円)

前年度総越金(2017年4月1日)	1,423,556
同窓会連絡会 維持費 白菊会、にてらりべるてFグループ 各￥70,000×4	280,000
利息 2017年8月	6
利息 2018年2月	6
小 計	280,012
収入合計	1,703,568
支部総会お祝い金 東京・関西・西南支部 各￥20,000×3	60,000
東京支部参加費 ￥6,000×4	24,000
関西支部大会出席会費、往復交通費	34,580
西南支部大会出席会費、往復交通費、宿泊費	55,780
クリスマス礼拝経費(含 振込手数料)	95,726
支出合計	270,086
次年度総越金	¥1,433,482

以上の通りご報告いたします。

2018年4月1日 Fグループ 小林 周子

クリスマス礼拝のご案内

《日 時》

2018年12月8日(土)
午前11時から

《場 所》

カイパー
記念講堂

《説教者》

アメリカ改革派教会宣教師
フェリス女学院理事
キスト岡崎さゆ里牧師



クリスマス礼拝(2017年)献金先

献 金 総 額

277,780円

- 日本ユニセフ協会 69,445円
- 日本キリスト教海外医療協力会 69,455円
- 難民を助ける会 69,455円
- 社会福祉法人日本医療伝道会 69,455円

フェリス女学院大学 大学院では、専門性豊かな3研究科を設け、新しい時代を切り拓く女性を育成しています。卒業生の皆様、もう一度フェリスで学んでみませんか?研究科長からのメッセージをお届けいたします。



大学からのお知らせ

方針を採用。カリキュラムは研究テーマに即した3つの科目群から構成され、相互に補完し合うことで、専門分野の枠を超えた総合知識も獲得できます。こうした研究体制のもと、学部卒業生も社会経験を経た方も、少人数制の密度の濃い学修環境で、学びをさらに深め発展させてください。博士前期課程を修了すると修士(国際交流)の学位が、さらに博士後期課程を修了すると博士(国際交流)の学位が授与されます。

国際交流研究科長 木曾 順子

【音楽研究科】

国際交流研究科長 木曾 順子

音楽研究科には「英語英米文学専攻」「日本語日本文學専攻」「コミュニケーション学専攻」の3つの専攻があります。「英語英米文学専攻」では英米文学とともに英米の文化・社会や英語学について、「日本語日本文學専攻」では日本の文学・文化や日本語教育について、「コミュニケーション学専攻」では心理・社会・言語・文化的な側面からのコミュニケーション問題について、それぞれ多角的に人文学に関する教育研究を展開しています。

門的見地から多様化する社会を理解し、社会的貢献でのべき研究能力及びその基礎となる豊かな学識を備えた職業人・研究者の育成をめざしています。

人文科学研究科長 井上 恵美子

【国際交流研究科】
学びをさらに深め、キャリアに繋ぐ

国際交流研究科は、グローバリゼーション時代にふさわしい、専門的知識、独創性、また専門の枠を超えた総合的知識を身に付け、優れた判断力を發揮して多様な分野で活躍できる人材の育成をめざしています。グローバリゼーションに関する研究を中心に、1専攻(国際交流専門)、3研究群(「グローバリゼーション研究」「グローバリゼーションと地域社会」「グローバリゼーションと日本」)

両専攻とも個別の二コースに対応する丁寧な教育方針のもと、音楽の各種専門知識や高度な演奏技術をもって修了後の社会で活躍できる教養ある音楽人の育成を目指します。

音楽研究科長 立神 粢子
※詳しい入試日程や試験内容につきましては、大学公式サイトをご覧ください。
<http://www.ferris.ac.jp/examination/>
graduate-admissions/

